

災害医療体制構築への取組について

1 合同救護本部設置訓練

千葉県災害医療救護計画の第6章第2節に基づき、総合病院国保旭中央病院の災害対応訓練に併せて「合同救護本部設置訓練」を実施している。

(1) 令和4年度実施内容

○日時：令和5年1月14日（土） 午前9時から正午まで

○想定シナリオ

大型台風上陸により管内3市の全域で停電し、それに伴う断水も発生している。土砂崩れ等により主要道路が閉鎖している。管内病院での停電により患者50名の避難を要する。

○訓練内容

合同救護本部の設置、旭中央病院やDMAT（※1）と合同訓練を実施。災害時における情報共有や初動対応の訓練を実施した。

○課題等

合同訓練を通じ、設置目的や互いの役割を確認できた。しかし、発生時に適切な救護活動につなげるための関係機関の情報共有方法とEMIS（※2）の活用が課題である。そこで、所内でEMISについて再周知し、入力手順の共有を行った。また、令和5年2月に情報の見える化と共有を目的として「海匝地域合同救護本部マニュアル」を改訂した。



○訓練の総評の様子
訓練



○管内医療機関の被災状況の確認

（※1）災害派遣医療チーム。災害時に派遣される専門的な医療チームのこと。

（※2）広域災害救急医療システム。災害にかかわる情報の収集、提供を行う。

(2) 令和5年度実施予定内容

○日時：令和5年11月25日（土） 午前9時から正午まで

○想定シナリオ

千葉県北西部を震源とする地震により千葉県北東部で震度6弱を観測。それに伴う大規模停電、断水及び交通網の遮断が発生している。

○訓練内容

災害本部、海匝地区合同救護本部を設置し、EMISを活用した情報共有訓練を行う。

2 危機管理への取組について

(1) EMIS入力訓練

8月の危機管理月間において、所内職員に対して、EMIS活用マニュアルの周知及びEMIS入力訓練を実施した。

○実施方法

EMISの個人練習モードを使用して、模擬的に保健所職員全員が管内医療機関の救急時入力を行う。

アンケートにより実施状況を確認し、フィードバックを行う。

(2) 各種マニュアルの整備

緊急時の対応のため、以下のマニュアルを整備し、必要に応じ改訂している。

○災害時実働マニュアル 超急性期編

○災害時実働マニュアル 急性期編

○合同救護本部活動マニュアル

活動のポイント：旭中央病院との連携の深化